

高齢者の現状

1 急速に進行する高齢社会

日本は、他の先進国に例を見ない速度で高齢化が進み、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成29年推計）」によると、令和3年における65歳以上の高齢者人口は3,638万6千人で、総人口に占める割合（高齢化率）は29.1%となっています。高齢者人口及び高齢化率は、平均寿命の伸長や低い出生率を反映して今後も上昇し続け、令和18年（2036年）には、高齢者人口は3,808万4千人、高齢化率は33%を超え、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢社会が到来すると見込まれています。

このような中、国勢調査による本市における高齢化率は、平成2年では11.6%、平成7年では14.8%、平成12年では18.3%、平成17年では22.2%、平成22年では26.5%、平成27年では31.8%となっており、令和3年4月1日現在の住民基本台帳では34.2%に達し、国の推計値を上回る状況となっています。

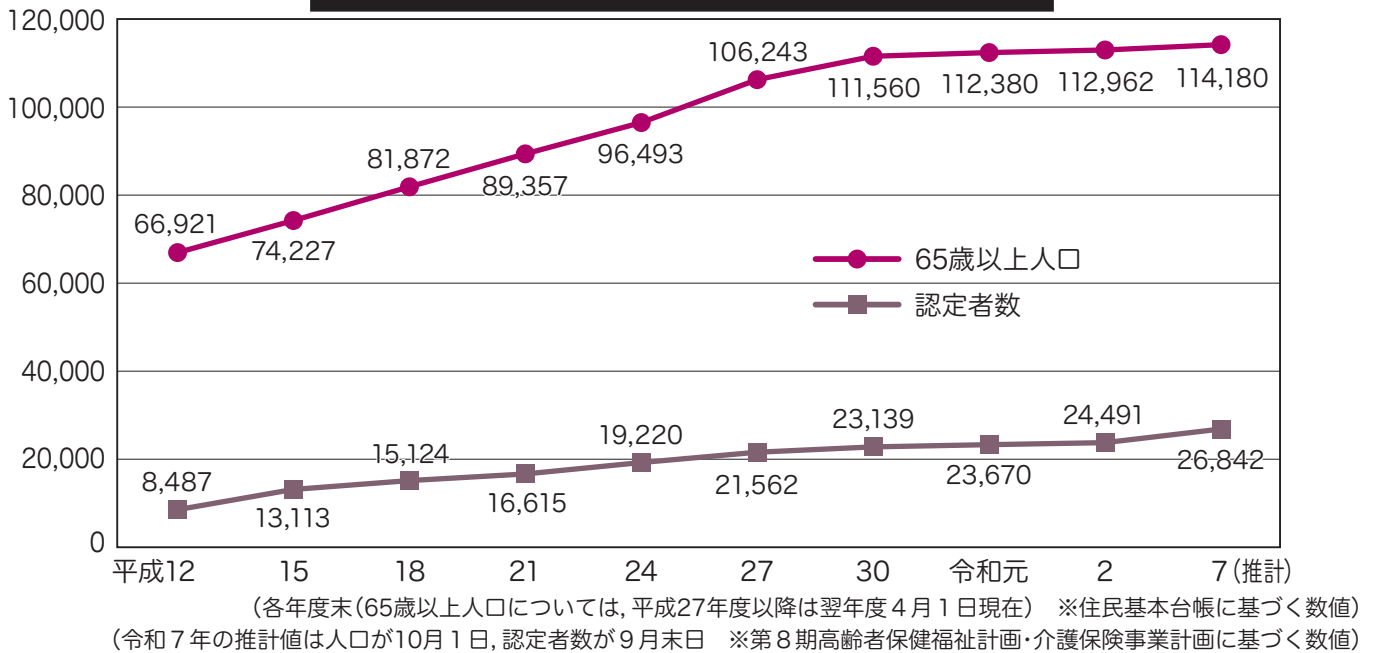
2 旭川市の高齢者人口と介護保険給付費の推移

旭川市の65歳以上人口と割合

	男 性		女 性		合 計	
総人口	153,085人		176,737人		329,822人	
65歳以上	47,002人	30.7%	65,960人	37.3%	112,962人	34.2%
65～69歳	11,755人	7.7%	13,534人	7.7%	25,289人	7.7%
70～74歳	13,325人	8.7%	16,446人	9.3%	29,771人	9.0%
75～79歳	8,890人	5.8%	12,470人	7.1%	21,360人	6.5%
80～84歳	6,654人	4.3%	10,026人	5.7%	16,680人	5.1%
85～89歳	4,360人	2.8%	7,638人	4.3%	11,998人	3.6%
90～94歳	1,666人	1.1%	4,206人	2.4%	5,872人	1.8%
95～99歳	316人	0.2%	1,396人	0.8%	1,712人	0.5%
100歳以上	36人	0.0%	244人	0.1%	280人	0.1%

（令和3年4月1日現在）

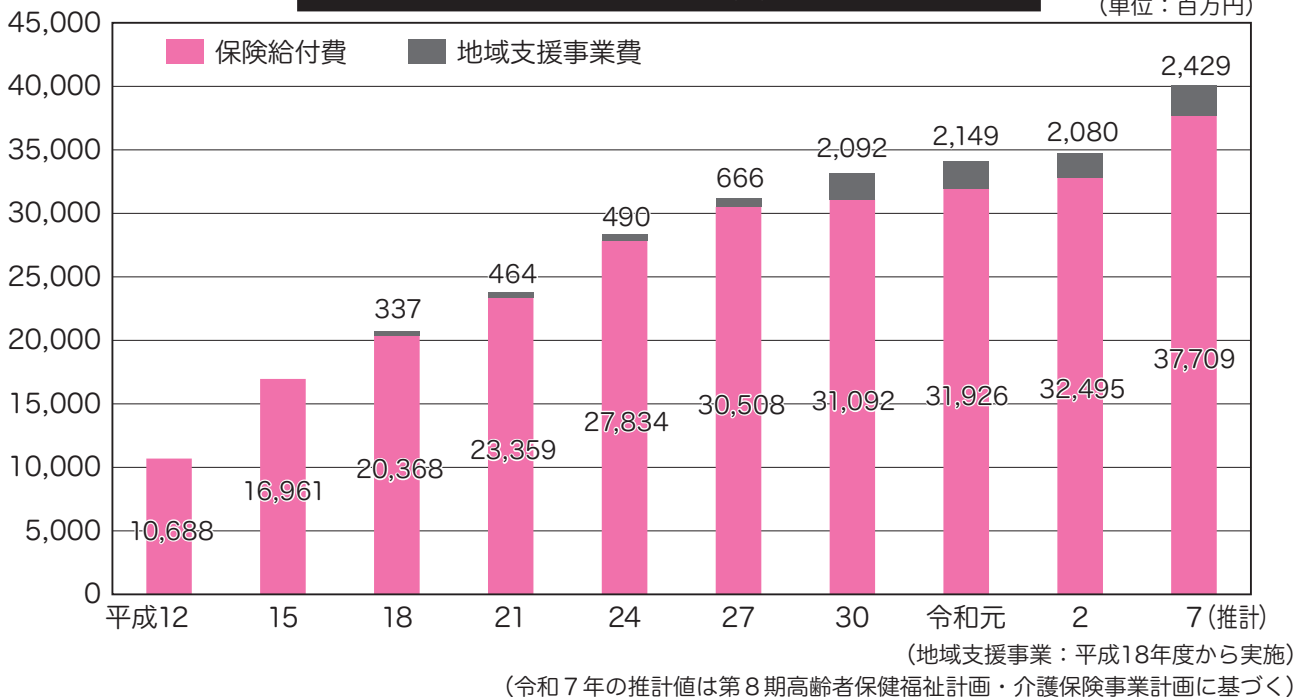
旭川市の65歳以上人口と要介護認定者数の推移



平成12年の介護保険制度開始時には、旭川市の高齢化率は17.7%でしたが、令和3年4月1日現在では34.2%と状況は大きく変わっています。また、介護保険制度開始時と比べ、令和3年4月1日時点での本市の高齢者数は約1.7倍、要介護等認定者数で約2.9倍となっています。

旭川市の介護給付費の推移

(単位：百万円)



旭川市の令和2年度（見込）の介護保険給付費は、平成12年度の介護保険制度開始時と比べて、約3.0倍に増加しています。

高齢者のさらなる増加が見込まれる中、旭川市では医療保険情報との照合や、介護サービス利用者に対する給付費通知の送付により介護サービスを見直す機会を提供するなど、必要以上の介護給付の抑制を図るとともに、65歳以上の方に対し一般介護予防事業（8ページ）を実施することにより、持続可能な介護保険の運営に努めています。